

高大連携を強めて教育活性化



2024年(令和6年)

4月号

発行
青森大学
広報室

〒030-0943
青森県青森市
幸畑2-3-1
TEL 017-738-2001
FAX 017-738-0143



昨年度3校と協定、14校に 聴講生受け入れや教員派遣

大学と高校双方にとって教育活動の活性化につながる「高大連携」が、青森大学と県内の高校との間で年々拡大している。昨年度は木造高校(令和5年7月7日)、六ヶ所高校(同12月13日)、三戸高校(令和6年1月26日)の3校と連携協定を締結。これで県立高校12校、私立高校2校の計14校となった。



東京・むつキャンパスとオンラインで繋いだ三戸高校との連携協定締結式

高校時は、「高大連携を特に意識しないままに参加していました。普段は行かないような場所に行き、関係者から話を聞いたり、身体の不自由な状況を体験をしたりと、高校ではできないようなことを経験しました。そして、総合経営学部に入学しました。サークルを立ち上げまし

学教員による高校への出張講義、「総合的な探究の時間」への教員派遣などを通じて学習内容を充実させるとともに、進路選択のサポートも期待できる。実際、高大連携で大学の学びを経験したことをきっかけに、青森大学への進学を決めたケースもある。大学側にとっても大学教育に関する高校の教員

からの助言や講義に参加するなどした高校生の反応を大学教育の進め方に生かすことができる。また、青森地域の大学進学率の向上につながると期待される。

高校側はそれぞれ大学に対し多様な期待を寄せた。木造高校は探究学習などで高校教員の指導枠を超えた内容が発生した場合の相談などを想定。六ヶ所高校はリモート講義などを活用し、地域に貢献する人材育成に期待する。三戸高校はアイデア、デザイン、情報発信などの手法を学ぶ「クリエイティブ部」の活動を活性化させ、学校の魅力を高め生徒募集にもつなげたいとしている。

この体験を1人でも多くの高校生に



Profile
奥崎 弥さん
ソフトウェア情報学部4年
(青森商業高校 卒業)

先生を補佐するアシスタントとして
高大連携事業に参加している

面白そうだったので、高校3年生の時に、高大連携班に入りました。予想通り面白かったです。私たちは 구글マップを利用して、たスクールマップを制作しました。教授の先生方はどんな疑問にも回答してくれました。高校では体験できないことができたと感じています。授業以外でもみんなで楽しく制作した記憶があります。その後、ソフトウェア情報学部へ入学しました。現在は仲間とゲーム作りに没頭しています。チャンスがあれば、高校生と一緒にゲームを作りたいですね。高校生の時の私と同じように、彼女らにも感動して欲しいのです。

青森県の観光業を担う存在になりたい



Profile
池田 修真さん
総合経営学部3年
(青森山田高校 卒業)

学友と共にイグルーを制作した池田さん(写真右)
イグルーとは、北極圏の簡易居住空間のこと



薬学部 令和2年度卒業
盛愛さん 青森中央高校 卒業

テック 調剤薬局

出会いが将来を考える機会に

私は薬学部だったので、就職活動に関しては他学部と少し違う部分があったかもしれませんが、就活はインターンシップ先の先輩や同期との情報交換を通じて、選択肢の中から少しずつ自分の希望する就職先が明確になっていきました。また、学部で行われる外部向けイベントのお手伝いの中で、中高生や地域の方々や薬学生として出会い、その都度、将来について考える機会となっていました。

入社して一番記憶に残っているのは、入社後の新人研修です。同期入社の人と数週間一緒に学ぶことができ、実に良い経験でした。現在はさらに資格を取得するために挑戦中です。



在学時、青森市内の小学校で演劇鑑賞教室などを実施

持って学んでいました。また、高校時代から取り組んできた演劇も続けることができました。

希望の就職を果たした先輩から話を聞いてきました！



総合経営学部 令和5年度卒業
高橋りなさん 青森北高校 卒業



社会学部 令和5年度卒業
竹内 渚生さん 青森北高校 卒業



ソフトウェア情報学部 令和5年度卒業
蜂谷 優人さん 札幌手稲高校 卒業

慣れて、青森をみんなで盛り上げていきたいと思います。

プログラマー ホールディングス

青森のために働く

頑張る個人や企業と協力して仕事ができる金融業界銀行業に進むことを考えていました。早く仕事に慣れて、青森をみんなで盛り上げていきたいと思います。

感じながら青森のために働きたいという思いがありました。そこで、青森で

り上げていきたいと考えています。就活準備の中で、大学のキャリア授業も充実して

味を持っていました。大学進学時には、公務員

青森県 警察本部

社会問題を解決したい

を進めました。公務員試験には、モチベーションの高い友人たちと一緒に励むことができました。良かったのだと思います。

日々のニュースを見聞きする中で、「社会の問題がなぜ解決しないのか」と思うようになりました。

対策講座を前面に打ち出していた青森大学に進学を決めました。対策講座には1年生から参加し、準備

学校の頃に塾で、答えは一つでも答えの導き方は幾通りもあることを教えてもらい、効率だけを求めないその子の速度に合わせ

た指導がとても私に合いました。学ぶのが楽しくて居残り授業まで受けていました。そして、自分も一人一人に寄り添う指導を

中学校高校教員 採用試験合格

一人一人に寄り添う指導を

年次に1日15分の勉強から始めて、徐々に勉強時間を増やしていきました。中

人一人に寄り添う先生になりたいと思うようになりました。これからどんな生徒たちと出会えるのかも楽しみです。